

みつけコミュニティ・スクールナビ

平成29年6月30日発行 第33号

～見附市総合防災訓練～

～中学生906人を含む市民12,286人が参加～

6月11日（日）に実施された見附市総合防災訓練には、中学生906人が参加し、各町内で、地域の皆さんと一緒に訓練に取り組みました。

また、防災フェスティバルが行われた名木野小学校では、火災想定避難訓練やボランティアセンター立ち上げ訓練、炊き出し訓練、水防訓練、負傷者救出訓練、ドクターヘリ連携訓練等、様々な訓練が行われました。名木野小学校1～4年生の児童は、火災を想定した避難訓練を行いました。5年生は、バケツリレーによる初期消火訓練。6年生は保護者とともに炊き出し訓練を行いました。

日ごろからの、地域での関係づくりや絆づくりが防災意識を高め、地域の安心安全の礎となります。市防災訓練への参加は、防災の視点はもとより、地域への貢献、自分の役割や責任の自覚といったキャリア教育の視点からも、大きな意義があり、地域貢献への思いの表れと考えています。



未来南杜の会総会兼コミュニティ・スクール総会

6月23日（金）、北谷公民館にて「未来南杜の会総会兼コミュニティ・スクール総会」が開かれました。この総会は、南中学校の支援組織「未来南杜の会」が主催しています。総会には、学校運営協議会委員、PTA 役員、市議会議員、地域コミュニティ長、各地区の区長、同窓会会長、後援会会長、駐在所員、南中学生役員が集まります。

未来南杜の会創設 10 周年にあたる今回の総会では、今までの 10 年を振り返りながらこれからの展望を語り合いました。また、久住市長様からも来賓としてお越しいただき、祝辞をいただくとともに協議にも参加していただきました。およそ 1 年間に掛けて話し合われた見附市総合防災訓練への参加の在り方について区長の皆様から、「受付業務を中学生からしてもらった。頼もしかった」「大勢の生徒から参加してもらった。今後も継続したい」「お互いに顔を覚えてもらえてよかった」などの感想をいただきました。また、生徒会長からは「今年度の生徒会は『つながる』ことをテーマとして取り組みます。仲間・地域とつながるために頑張ります」という発表がありました。

南中学校のコミュニティ・スクールは、年 2 回開催されるこの総会と年 3 回開催される学校運営協議会で意見を練り上げ、南中学校の教育について「熟議」を進めていきます。

